

オーディオ実験室収載

TruPhase の活用(26) —入出力系統の整理—

1. はじめに

TruPhase の入出力系統の見直しと入れ替えを行います。

2. TruPhase の入出力系統の整理

TruPhase は、主として Brooklyn DAC+からの入力を受けて 300B アンプに送り出すように経路を定めていますが、DA-3000 から Brooklyn DAC+への SDIF 入力が不調になりましたので、修理もしくは代替機の調達の間、出力系統の見直しと入れ替えを行うことにしました。なお、DA-3000 の送り出しへは、SDIF 経由をやめてバランスアナログ出力とします。

TruPhase への INPUT は次のように設定します。

XRL1 EMT981→TruPhase(B)

XRL2 DA-3000

RCA1 ZANDEN Model120

RCA2 Leak Poit1 or DAC-1

RCA3 SWD-DA20

TruPhase からの OUTPUT は次のように設定します。

XRL 300 シングル

3. TruPase の入出力系統の確認

上記の入出力系統に関して音源別に再生状況を確認していきます。

アナログ再生 1 (RCA1 入力)

LP-12→ZANDEN→RCA1

TD124→ZANDEN→RCA1

アナログ再生 2 (RCA2 入力)

Garrad401→Leak Poit1→RCA2

配信音源再生 1 (RCA3 入力)

PC (USB) →SWD-DA20→RCA3

配信音源再生 2 (XRL2 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

Sonica DAC→DA-3000→XRL2

ファイル音源再生 1 (RCA3 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →SWD-DA20→RCA3

ファイル音源再生 2 (XRL2 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

fiidata HFAS1-S10 (LAN) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

CD 再生 1 (XRL1 入力)

EMT981→TruPhase (B) →XRL1

CD 再生 2 (RCA2 入力)

47 研 4716→CCV-5→DAC-1→RCA2

Diga 録画再生 (XRL2 入力)

DMR-UBZ1 (S/PDIF) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

上記のいずれも所定の再生が確認でき、音質的にも特段の問題を認めませんでした。

4. まとめ

DA-3000 から Brooklyn DAC+への SDIF 入力が不調になり、暫定的に入出力系統の見直しと入れ替えを行いました。

以上